

① 岩波明 著

『うつ病：まだ語られていない真実』

(筑摩書房)

「うつ病」とは、どのような病気でしょうか。「うつは人間感情の自然の発露」と病気を軽視する意見に対して著者は、『うつ病とは(中略)自殺や心中(拡大自殺)など非合理的で理不尽な行動を起こすほど憎悪してしまう疾患である』と言います。今や国民病といえるほど一般的になったうつ病は、多くの人にとって、まったくの他人事ではありません。本書ではうつ病の実例と薬物、自殺率等の事実を提示・分析しています。日本の現代社会を考える上でもお薦めの一冊です。「うつ」の気がある人も自分は無関係だと思っている人も、一読されてはいかがでしょうか。

493.76-Iwa (K.K.)

③ 藤沢周平 著

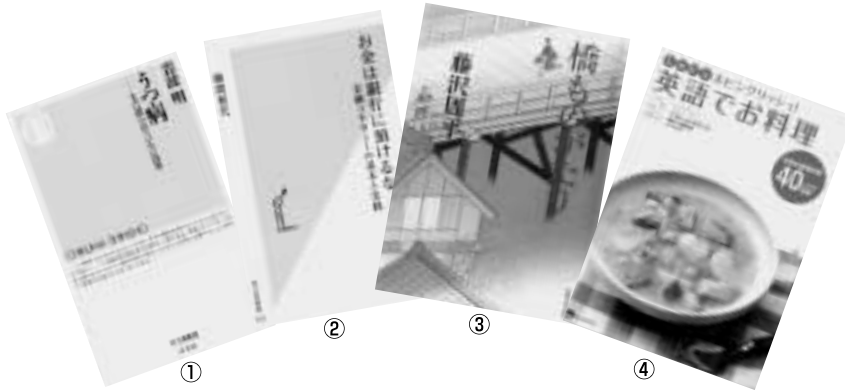
『橋ものがたり：新装版』

(実業之日本社)

みなさんの通学時間はどれくらいですか?電車やバスを乗り継いで遠くから通っている方も多いと思います。今は長距離をあっという間に移動するのが当たり前の時代ですが、今ほど交通手段が発達していなかった時代では、人が日常的に移動する範囲はあまり広くはなかったのではないのでしょうか。そうした人々の生活の中にある「橋」。仕事で毎日通る橋、恋人との待ち合わせをした橋、渡ってはならない橋。

本書は、テレビドラマ「蝉しぐれ」や映画「武士の一分」などで静かな人気を集めている藤沢周平が江戸の橋を舞台に市井の人々を描いた短篇集です。

913.6-Fuj (N.T.)



② 勝間和代 著

『お金は銀行に預けるな：金融リテラシーの基本と実践』

(光文社)

お金を使わない人はいません。しかし金融についてとなると、途端に身近でなくなるのではないのでしょうか。本書は、私達の大切な資産であるお金を銀行で眠らせるのは「損失」で、お金に「動いて」もらい、個人の生活ひいては社会全体を向上させようと説いています。リスク資産に投資するのは勇気が要るかもしれませんが、本来なら得られる収入を実は放棄しているのだとしたら・・・?分かりやすく良心的なアドバイスで、卒業後の「お金」について考えるのにお薦めです。

338.12-Kat (R.K.)

④ 野田絵梨奈 著

『Let's ホビングリッシュ!英語でお料理：世界の家庭料理40レシピ収録』

(ジャパンタイムズ)

世界の色々な地域の料理の作り方を、英語で覚えてみませんか。本書は、アメリカ、地中海沿岸、中・東欧、ラテンアメリカ・アジアの地域の代表的な料理のレシピが英語・日本語で書かれています。

材料の切り方、調理器具の名前、調理方法を英語でどう表現するのかを、料理をしながら学ぶことができます。付属のCDには材料とレシピの音読が収録されているので、CDを聞きながら作ってみるのも良いかも知れません。

本書で覚えた英語の表現は、日本の料理のレシピを海外の人に紹介することにも応用できますよ。

596-Nod (Y.Y.)